

## 東京文化発信プロジェクト 平成 24 年度 年間ラインアップ発表！！

### ■年間を通して40を超える事業を実施！

東京文化発信プロジェクトは、「フェスティバル」、「キッズ・ユース」、「東京アートポイント計画」、「ネットワーキング」の4つの柱で事業を展開しています。発足から5年目を迎える今年度は、年間を通して40を超える事業を実施します。

「フェスティバル」では、伝統芸能公演において、和の魅力発見シリーズ「Traditional+ (トラディショナルプラス)」を新たに展開するほか、リニューアルオープンする東京芸術劇場を中心に「フェスティバル/トーキョー12」を開催するなど、大規模なフェスティバルを行っていきます。

「キッズ・ユース」は、子供たちが一流の芸術家から伝統芸能を本格的に学ぶ「キッズ伝統芸能体験」、参加型にリニューアルした「青少年のための舞台芸術体験プログラム」などで、子供や青少年に創造活動の機会を提供していきます。

アーティストと市民が協働するプログラムをまちなかで展開する「東京アートポイント計画」では、3つ目の作品が完成する「川俣正・東京インプログレス」などのアートプログラムや、アートプロジェクトを実践するための人材育成プログラムを実施します。

「世界的な文化創造都市・東京」を国内外にアピールする「ネットワーキング」は、文化の力でいかに課題に向き合うかを議論する「国際会議」の開催と、海外の文化関係者に東京の文化を体験・発信してもらう「国際招聘プログラム」を行います。

※詳細は、「平成24年度東京文化発信プロジェクトの主な内容」と「年間カレンダー」にてご確認ください。

### ■参加・体験型プログラムや、人材育成の取り組みなど、充実した年間ラインアップ！

今年度は特に、「フェスティバル」、「キッズ・ユース」において参加・体験型プログラムや次世代を担う若者の人材育成プログラムを充実させ、幅広い世代が文化創造に携わる「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けた事業を展開します。

また地域・市民の参画により、東京ローカルの多様な魅力を創造・発信するさまざまなプロジェクトを展開してきた東京アートポイント計画は、拠点形成や区市町村等との連携、プロジェクトのアーカイブにも注力するなど、4年目を迎える今年度、新たな取り組みを始めます。

※詳細は、「平成 24 年度東京文化発信プロジェクトの主な内容」と「年間カレンダー」にてご確認ください。

### ■「東京クリエイティブ・ウィークス(TCW)」期間延長、都内イベントとも広報連携、昨年より拡充して実施！

10月10日(水)～31日(水)の22日間にわたり「東京クリエイティブ・ウィークス(以下、TCW)」を実施します(昨年度は11日間)。伝統と現代、東京と世界など、さまざまな視点で東京の文化を体験できる3週間。週末ごとに、当プロジェクトが主催する目玉事業をテーマに沿って実施し、東京の文化の発信力を高めます。

#### 【週末ごとのテーマ】

- 1 週目… “伝統” 『東京大茶会 2012』を浜離宮恩賜庭園にて実施
- 2 週目… “国際性” 「文化の力で社会変革」をテーマに国際会議を開催
- 3 週目… “現代性” 『F/T12』、『東京アートミーティング(第3回)』など、東京の先鋭的カルチャーが体感できる事業を展開

さらに、都立文化施設もイベントや展覧会で TCW に参加。加えて、同時期に行われる都内の様々なフェスティバル等とも広報連携し、東京の芸術の秋を盛り上げていきます。

#### TCW メインビジュアル

今年度は、「キタイも。ソウゾウも。」のコピーとともに、「想像の余白」を印象的に表現し、まだ自分が知らない“何か”を目前にした時の高揚感・ドキドキ感を伝える内容とし、アートファンのみならず、幅広い層に向けてアピールしていきます。【TCW キャンペーンサイト】 <http://www.tcw2012.jp>



#### <本件の取材・掲載に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

東京文化発信プロジェクト広報事務局 担当: 大柳・久保・伊藤・野尻  
TEL: 03-3584-4948 FAX: 03-3584-5230 E-mail: [tokyobunka@path.ne.jp](mailto:tokyobunka@path.ne.jp)  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-4-6 赤坂光洋ビル 2 階

「東京文化発信プロジェクト」ウェブサイト <http://www.bh-project.jp/>

# 平成 24 年度「東京文化発信プロジェクト」の主な内容

## 【5年の経験と実績を活かした充実のプログラム展開】

当プロジェクトは「フェスティバル」「キッズ・ユース」「東京アートポイント計画」「ネットワーキング」の4つを柱に、「伝統芸能」「演劇・ダンス」「音楽」「美術・映像」「映画」などの幅広い分野で、より充実した事業を展開します。

## ■主なトピック

**前期(～10月)** ※別紙、当プロジェクトのチラシ(前期:平成24年7月～10月)と併せてご覧ください。

### <フェスティバル事業>

#### ◇「東京発・伝統WA感動 伝統芸能公演」に新たなプログラム

和の魅力発見シリーズ「Traditional+ (トラディショナルプラス)」を新たに展開。現代音楽を通じて和楽器の魅力を探るワークショップをはじめ、若者に親しみのある現代カルチャーの中に息づく日本の伝統文化に着目したトークや実演、ワークショップなどをスパイラルホール、東京都写真美術館にて行います。

### <キッズ・ユース事業>

#### ◇「青少年のための舞台芸術体験プログラム」がリニューアル!

「東京文化会館×文京シビックホール オペラBOX」と連動し、①児童合唱団として出演、②本番で使用する小道具等の作成、③舞台デザイナーの育成など、オペラの制作過程に青少年が参加する3つのワークショップからなる「オペラをつくらう!」などを実施します。

### <東京アートポイント計画>

#### ◇始動3年目の「Tokyo Art Research Lab (TARL/タール)」は、より実践重視の講座を新たに開講

東京アートポイント計画の人材育成プログラム「TARL」は、3年目で新たなフェーズに突入。企画立案、管理運営、検証、アートと人をつなげる方法論など、プロジェクトの運営に役立つ実践的な講座を開講します。

**後期(11月～3月)** ※別紙、年間スケジュールと併せてご覧ください。

### <フェスティバル事業>

#### ◇リニューアルオープンする東京芸術劇場を中心に展開する舞台芸術の祭典「フェスティバル/トーキョー12」

世界の最先端舞台芸術と日本独自の表現が出あう場として国内外の作品を多数ラインアップする他、アジア全域で、若手の登竜門としての認知が広まっている公募プログラムも充実。池袋周辺地域でのイベントなども開催します。

#### ◇「東京アートミーティング」関連展示の公募などを行う新たな試み「Tokyo Sonic Art Weeks」

東京都現代美術館では、「東京アートミーティング(第3回) アートと音楽」展の関連展示として作品プランを募集するコンペティション「Tokyo Sonic Art Award」を実施。グランプリ受賞者に制作・展示補助費をサポートするなど、若手アーティスト育成を支援するとともに、コンサート、シンポジウム等を実施します。

#### ◇「東京音楽アカデミー」の特別賞受賞者が「プレミアムコンサート」福生公演にて東京都交響楽団と共演

国際的に活躍するアーティストの直接レッスンなどにより、世界に通用する若手演奏家の育成を行うのが「東京音楽アカデミー」です。その特別賞受賞者は、年間を通じて東京都交響楽団のコンサートを実施している「プレミアムコンサート」の12月8日(土)福生公演にて東京都交響楽団と共演します。また、優秀受講生によるファイナルコンサートも開催します。

### <キッズ・ユース事業>

#### ◇7か月に及ぶ稽古の成果を披露する「キッズ伝統芸能体験」発表会

子供たちが一流の芸術家から能楽や日本舞踊などの伝統芸能を本格的に学ぶ「キッズ伝統芸能体験」では、7か月に及び稽古を行ってきた子供たちが、その成果を発表します。

### <東京アートポイント計画>

#### ◇今年度の「川俣正・東京インプログレス」では、3つ目の作品が完成します

世界的なメトロポリス・東京を、ワークショップ、共同制作、トーク等の活動を通して再考し、そのプロセスを地域及び世界に発信する「東京インプログレス」。東京スカイツリーの眺望スポットとしても人気の「汐入タワー」「佃テラス」に加え、江東区の都立春海橋公園にも新たな作品が完成します。3つの作品から東京の水辺の風景をお楽しみください。

#### <東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 (Art Support Tohoku-Tokyo)>

東京文化発信プロジェクト室では、昨年度より、東京アートポイント計画の手法を活かし、東日本大震災被災地の復興を支援する事業に取り組んでいます。今年度も継続して、岩手、宮城、福島県の3県で、地方自治体やNPOと連携し、芸術文化を活用した地域コミュニティの交流の場づくりを支援していきます。 <http://astr.jp/>

## 平成 24 年度「東京クリエイティブ・ウィークス」の主な内容

### 【「東京クリエイティブ・ウィークス」について】

「東京クリエイティブ・ウィークス」は、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向け、プロジェクトの発信力を更に高めることを目的に、事業を集中的に体験できる期間として実施しています。

■期間：平成24(2012)年10月10日(水)～31日(水) =22日間=

### ■主なトピック

#### ◇「伝統」をテーマに伝統芸能公演や大規模茶会を開催

会期1週目は「伝統」をテーマに展開します。「東京発・伝統WA感動 伝統芸能公演」のメイン公演として、日本の三味線音楽とそのルーツである中国やモンゴルといったアジアの三弦音楽の魅力に触れる公演「三弦 海を越えてーアジアから日本へー」を東京芸術劇場コンサートホールで開催します。また、浜離宮恩賜庭園を舞台に「東京大茶会2012」を実施します。流派を越えた茶席を通して、茶の湯の世界とともに東京の文化に触れていただきます。

#### ◇「文化の力で社会変革」をテーマに国際会議を開催

2週目はスペシャルプログラムとして、「文化の力で社会変革」をテーマに国際会議を開催します。世界で大きな変革が進行する中、日本は東日本大震災を経験し、従来の社会・経済システムで対応しきれない課題に直面しています。国内外のアート関係者や文化人などが集い、この危機の時代に対して、文化の力でいかに社会の課題に向き合っていくのかを議論します。

#### ◇「現代性」をテーマにアニメーションと浪曲のコラボレーションや先端アートの展示など

3週目は「現代性」をテーマに、山村浩二監督のアニメーション「頭山」と浪曲師国本武春氏の浪曲ライブが出あう「Traditional+ [vol.2] LIVEアニメーションと浪曲」や、先端的な舞台芸術の祭典「フェスティバル/トーキョー12」、坂本龍一氏を総合アドバイザーに迎え、音楽、音から影響を受けて制作された芸術作品やサウンドインスタレーションなど多様な表現を通して新しい「共感覚」を提示する「東京アートミーティング(第3回) アートと音楽」展を開催します。

#### ◇「東京の文化力」を再発見する「東京アートポイント計画」も精力的に展開

会期中を通じて、「東京の文化力」を再発見する「東京アートポイント計画」のプログラムが続々開催されます。独自の文化圏を持つ中央線沿線、とりわけ高円寺、吉祥寺、国分寺の“三寺”を中心にアートを結び、さまざまなアートプログラムを展開する「TERATOTERA」や、東京スカイツリーで注目の墨東エリアを舞台にしたアートプロジェクト「墨東まち見世 2012」など、プログラムが目白押しです。

#### ◇都立文化施設もTCWに参加！さらに、関連団体等との広報連携を図り、東京文化をより強く発信

TCWには都立文化施設もイベントや展覧会でTCWに参加。期間中は、4月にリニューアルオープンした東京都美術館が開館時間を延長します。

加えて、同時期に開催される都内のさまざまなフェスティバルなどとも広報連携を図り、ともに東京の芸術の秋を盛り上げていきます。

#### ●主な広報連携先（予定）

第29回全国都市緑化フェア TOKYO、レズ・アルティス総会 2012 東京大会、第25回東京国際映画祭、ダンストリエンナーレトーキョー2012、アークヒルズ音楽週間 ほか

#### ●TCWに参加する都立文化施設

東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、東京都美術館、東京文化会館、東京芸術劇場、トーキョーワンダーサイト